

令和4年度薬物乱用対策推進地方本部全国会議

海上保安庁における薬物事犯の摘発状況と水際対策について

海上保安庁

警備救難部国際刑事課



令和3年において海上ルートによる薬物密輸事犯を6件摘発し、その押収量は、覚醒剤約486kg（1件鑑定中）、コカイン約2kgとなっている。

覚醒剤の押収量は前年と比較すると倍増しており、一度に大量の覚醒剤を密輸する事犯が相次いで発生している状況で、その手口は、海上コンテナ貨物への隠匿によるもので、大口化・巧妙化の傾向が続いている。

その他の手口として、海上からの薬物密輸事犯については、過去5年間に於いて小型船舶を利用した洋上瀬取りや訪日クルーズ船の外国人乗客による薬物等の国内持ち込み事犯も摘発している。

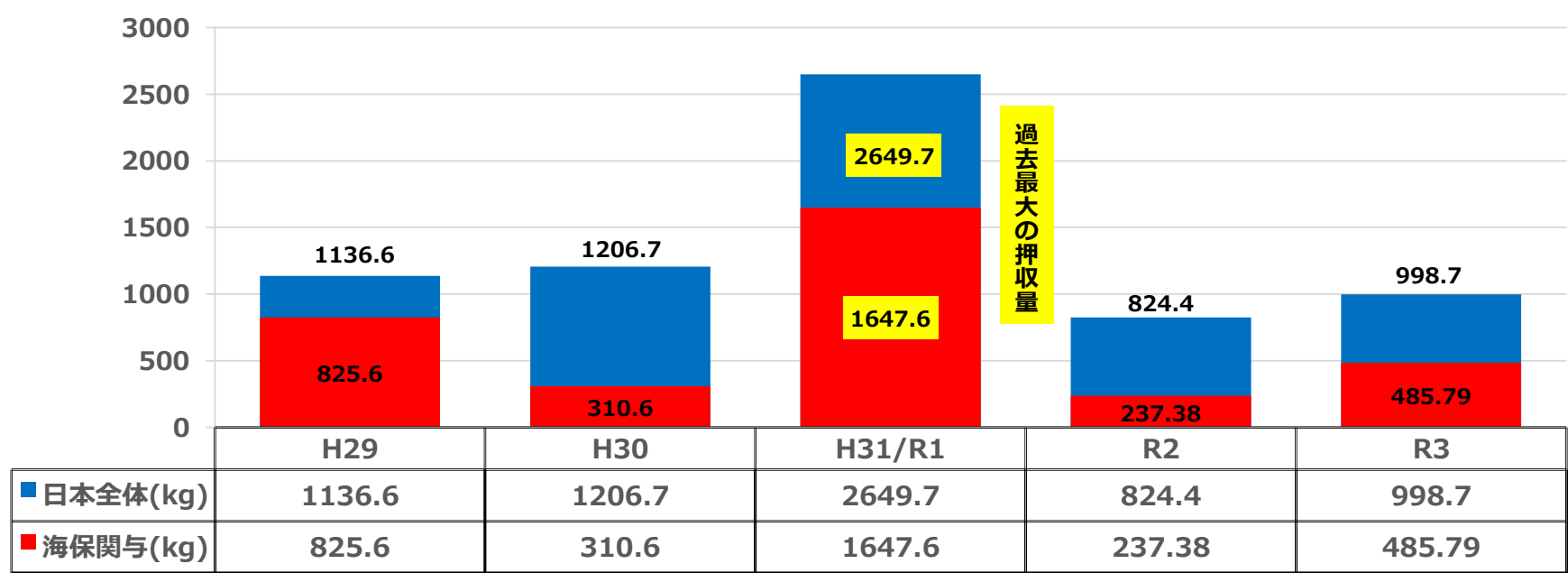
◎ 過去5年間の摘発実績

		平成29年	平成30年	平成31年 令和元年	令和2年	令和3年
摘発件数		8	15	9	5	10
押 収 量	覚醒剤	825.61kg	310.63kg	1,647.67kg	237,38kg	485.79kg (1件鑑定中)
	大麻	101.9g	23.59g	227.59g	微量	164.17g
	麻薬	71.31kg	115.21kg	577.65kg	781,76kg	2.00kg
	あへん	0	0	0	0	0
	指定薬物	0	0	0	0	0

注：表の数値は、当庁単独又は他機関と合同で摘発したもの。

近年においては、海上コンテナ貨物への隠匿による密輸事件はもとより、国内における違法薬物の所持・使用事犯の増加が懸念されていることに着目し、これら潜在事犯の摘発に向け、捜査体制を強化している。

○過去五年間における覚醒剤の押収量



【令和元年6月 静岡県賀茂郡南伊豆町】(過去最多の押収量)

- 鳥島南西方沖の日本の排他的経済水域内において、国籍不詳の船舶から覚醒剤を瀬取り、護岸に陸揚げしたもの。
- 中国人7名を逮捕
- **覚醒剤約1,018kg**を押収



【令和3年1月 新潟県佐渡市】

- 海上貨物輸送サービスを使用し、覚醒剤を密売したもの。
- 日本人2名を逮捕
- **覚醒剤約0.4g**を押収

【令和3年2月 愛媛県松山市】

- フェリー乗客の使用車両内において、**乾燥大麻及び大麻濃縮物**を発見したもの。
- 日本人1名を逮捕
- **乾燥大麻約162g、大麻濃縮物約2g**を押収

- 国内外の関係機関との連携を強化
 - ➡ 合同捜査による取締りに加え、各種会議、研修等において、国内外の関係機関との連携強化や情報共有に努めている。
- 巡視船艇・航空機等を活用した監視・警戒及び広域捜査
 - ➡ 虞犯情報に基づき、巡視船艇・航空機等を使用した外航船舶等に対する監視や警戒のほか、コントロールド・デリバリー捜査等において航空機を投入し、捜査に活用している。
- 薬物仕出地とされる可能性の高い国から来航する船舶に対する重点的な立入検査・監視
 - ➡ 新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、航空機利用客による違法薬物の密輸件数が減少し、海上貨物等への隠匿による違法薬物の密輸事件が懸念されることから、当該船舶等に対する重点的な立入検査や監視を実施している。

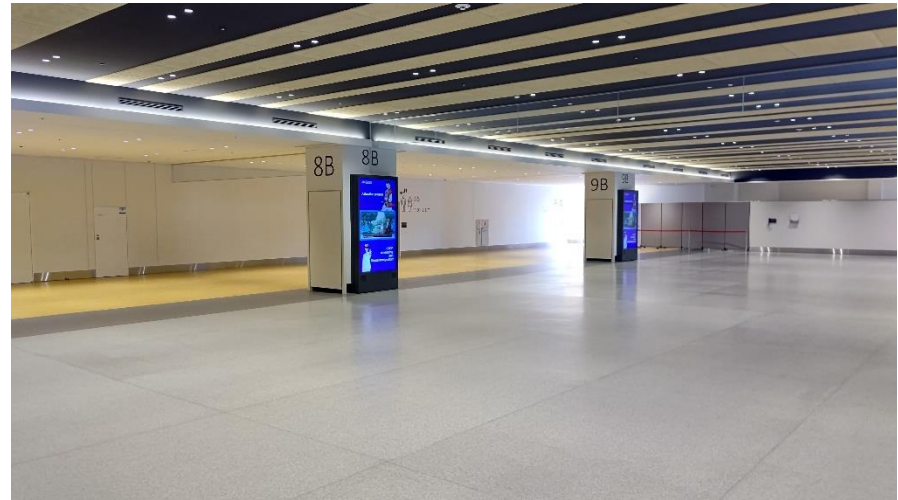


○多様化・複雑化する密輸・密航事犯に対し、治安及び法秩序を乱す行為を厳格に取締り、水際阻止を図っている。

現在、新型コロナウイルスの影響により訪日クルーズ船の運航が停止しているが、この再開に備え水際対策を強化するため、関係機関協力の下、密輸・密航防止啓発動画やポスターを作成した。



啓発ポスター



クルーズターミナル施設での放映



クルーズターミナル大型スクリーンでの放映